



## 桐生市いじめ防止子ども会議 開催 相生小・天沼小・相生中の代表児童生徒が意見交流

5日(火)に相生地区の「桐生市いじめ防止子ども会議」が相生中学校で開催され、相生小学校からも代表児童5名が参加しました。会議では、「仲間が悩んでいることに気付き、支え合うために、私たちにできること」をテーマにおき、自分の困り感を相手に伝えることや、友だちの困り感を受け止める仲間作りについて意見交流をしました。

相生小学校では、この会議のテーマを受け、『相手の気持ちに寄り添ったコミュニケーションの方法』についてそれぞれのクラスで話し合います。そして、その結果を全員で共有することで、全校体制でいじめ防止を推進していきます。



活発に意見を出し合った班別協議



A・Yくん (6の1)

仲良しのグループだけでなく、いろいろな人とコミュニケーションを取り、困り感を話しやすい環境を作っていくことが大切だと思います。



N・Sさん (5の1)

普段の何気ないコミュニケーションを大事にしていき、その中で、みんなが仲良くなる会話を意識していきたいです。

O・Rさん (6の2)

クラス内で上下関係ができないようにするために、相手の良いところを見つけたり、クラスでひとつのことに取り組む時間を設けたりすることが必要だと思います。



S・Kくん (5の2)

友だちの表情をよく見て声をかけたり、様子を感じ取ってコミュニケーションを取ったりすることが、これからの自分にできることです。



H・Mさん (6の3)

これからも友だちのことをたくさん気にかけていこうと思います。もしかしたら、それが、いじめの解決につながっていくかも知れません。



自分にできること、みんなでできることを考えさせる話し合いの機会を各クラスで設け、全校でいじめ撲滅に取り組んでいきます。 K教諭